

## 「2022年度 学校関係者評価結果報告書」の公表について

2022(R04)年度における当校の学校関係者評価を行いましたので、その結果報告書を公表いたします。  
 評価委員の皆様からいただいた改善事項等を真摯に受け止め、関係各位のご指導を賜りつつ、それぞれについて改善や工夫を図り、学校運営・教育活動の更なる向上をめざします。今後も、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

評価項目	自己点検評価点 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切		適正度 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切	
	2022年度 自己点検評価		学校関係者評価結果 (自己点検評価の適正について)	
	評価平均	概要説明		
1 教育理念・目標	3.3	<p>現状 毎年、高評価で安定している。</p> <p>改善策 これまでと同じに、年頭に1年間の方針や目標を掲げる。</p>	<p>適正度 3.8</p> <p>ご意見 ・引き続き教育理念に従い、教育をお願いします。</p>	
2 学校運営	3.1	<p>現状 業界や地域社会に対するコンプライアンス体制の評価は低いが、全体的には高評価である。</p> <p>改善策 コンプライアンスについては、引き続き注意を促していく。</p>	<p>適正度 3.4</p> <p>ご意見 ・社会に出てからコミュニケーション力の向上は難しい、学生のうちにできないものか</p>	
3 教育活動	3.4	<p>現状 全般的に整備されてきており、大きな課題は見当たらない。前後期制の切り替わり時期とカリキュラムの区切りが一致していない点が、問題となった</p> <p>改善策 各学科とも、3年後をめどにカリキュラムの変更で対応していくように努める。</p>	<p>適正度 3.6</p> <p>ご意見 ・SNSで、外部講師の授業やインターンシップの様子を拝見する。現場の話は大変ためになるので継続してほしい。 ・AIは使いやすくなっている</p>	
4 学修成果	3.3	<p>現状 就職支援は高評価だが、就職率は100%未達。退学率は0.9%で目標を達成したが、対応の難しい学生も受け入れているため、数字に表れない教員の苦労がある。</p> <p>改善策 就職が決まらない学生と退学する学生は、入試時に少しの傾向は見て取れるが、現状では受け入れているのが実態。支援員の増強が効果的であるが費用面で課題となる。</p>	<p>適正度 3.3</p> <p>ご意見 ・自主性とコミュニケーション力が向上する仕組みを期待 ・今は個の生活の時代なので、個人で何かやるよりも班で成し遂げる授業を取り入れる ・元気な学生を育成する ・高い就職率の維持、退職率を下げる活動も必要では</p>	
5 学生支援	3.0	<p>現状 専門教育と就職支援に比べて、少数ではあるが発達障害や心の問題を抱える学生への、より一層の対応が必要かもしれない。</p> <p>改善策 有料型外部カウンセラーの対応は済ましてあるが利用実績は無いので、別の形態を探る必要がありそう。</p>	<p>適正度 3.2</p> <p>ご意見 ・すべて学校で対応するのではなく、外部に依頼してみたらどうか ・世の中が変わっているので、学生に対しても変わる必要ありそう</p>	
6 教育環境	3.2	<p>現状 自動車整備学科とスポーツバイク学科で、教育環境の整備を継続した。</p> <p>改善策 各学科ともさらに新しい技術習得や環境の整備を継続する。</p>	<p>適正度 3.8</p> <p>ご意見 ・教材車の入れ替えは良かった。車も進化しているので、新しいものに触れるのは大切。 ・技術・知識と共にコミュニケーション力と積極性の向上も課題</p>	
7 学生の受入れ募集	3.1	<p>現状 ・スポーツバイク学科が大幅に伸びたが、自動車整備学科の減少傾向は続く。 ・AO入試の廃止案は毎年検討課題に上がる</p> <p>改善策 ・高校のバス見学を積極的に誘致し、高校生や教員に当校の魅力を知ってもらう機会を増やす。 ・AO入試は、本来の目的を鑑み見直しの検討を続ける</p>	<p>適正度 3.2</p> <p>ご意見 ・募集は「強み」を持つ必要あり ・学生募集には、課題があるかと。 ・自動車整備の学生を増やすために、コンピュータ教育を取り入れられないか ・振興会としても整備に興味を持ってもらえる対策をしたい</p>	

8 財務	3.1	現状	財政と会計監査と情報公開の部分で、全体の評価を上げた	適正度	3.2
		改善策	校舎がこの3月で築18年となり、各設備の老朽化が目立ち出したため、メンテナンス費用がかさむ時期に来ている。	ご意見	・Win11、エンジン、自転車など新しいものが必要な分野なので、お金がかかることも承知です
9 法令等の遵守	3.2	現状	評価数値は微増であった。	適正度	3.4
		改善策	さらに遵守に努めていく	ご意見	・世の中が変わる(性、セクハラ、など)ので、法令遵守は徹底する。大変ですが頑張ります。 ・学生の車両に対しての保安基準の意識向上
10 社会貢献 地域貢献	3.2	現状	スポーツバイシクル学科は、実習授業で地域活動を組み入れているため貢献度が高い。	適正度	3.8
		改善策	ボランティア活動を促す取り組みが必要であるが、年々各教員が多忙になっている点がネックとなっている。	ご意見	・社会貢献は自己満足として必要です。

学校関係者評価委員会実施日時:2023年3月16日(木) 15:30~16:15(コロナ対策のため、時間短縮で実施)

学校関係者評価委員

相澤 齊樹 アースシステム株式会社  
赤羽 史彦 NTPトヨタ信州(株)  
中村 吉保 (株)コスモ  
中村 孝司 (社)長野県自動車整備士振興会  
東海林 正也 卒業生代表